

第36回鹿児島県中学生テニス新人戦 申し合わせ事項

本大会の参加者（出場選手・引率者・監督・コーチ・応援者・運営担当・ロービングアンパイアなど）は、この「申し合わせ事項」、「大会要項」、「日程・連絡・諸注意」等を順守することを了承したうえで参加しているものとする。本大会は「2024 JTAルールブック」と「申し合わせ事項」を基に大会を運営を行う。

参加者は以下の事項をよく読んで、周知徹底をお願い致します。

1. 申込時の注意事項 重要事項です ◆①「データ送信」と②「当日提出」の2本立てです

大会要項をよく読んだうえで確実な申し込みをすること。「郵送」はありません。

- ① 申込書は全て「エクセル形式」になっているので、ホームページからダウンロードして直接入力する。入力が終わったら漏れや間違い等がないか確認し、**要項にあるデータ送付先にエクセルデータを添付して期日に遅れないようにメール送信**する。締切日が終る時刻までに送る。遅れた分は受け付けない。メールで申し込みが来たら、確認の返信をすることでチェックすること。また、**送信する際には、送信者の学校・クラブ名と送信者名・携帯電話番号を必ず添える**こと。データ送信時は校長印は不要。
- ② データ送信による申し込みとは別に、**プリントアウトした申込書（学校申込分は校長印を必ずもらうこと）は、大会当日必ず持参し、受付時に提出することになるので忘れないように。忘れたり、校長印がなかったり（クラブからの申込は不要）、受付終了時刻に間に合わない場合には「失格」となるので注意。**②はこれまでの「郵送」にかわるもので新しい方法なので特に持参忘れないように十分注意してほしい。
- ③ 参加料・登録料は、申込締切日までに申込責任者の名前で要項にある振込先に振り込むこと。振り込みがない場合は失格となる。締切日以降の申込・振込は受け付けない。

2. 受付 ◆受付をする時に上記1の②「申込書の提出」も忘れずに！

別紙「日程」に記載された**「受付終了時刻」までに必ず受付をすませる**。この「受付終了時刻」は、本部席内にある公式の時計で管理する。**遅刻はいかなる理由でも認められない**。時間にはじゅうぶん余裕を持って行動すること。また、**会場に来ていても、受付をしなければ来たことにはならず、棄権となる**。

団体戦・・・各学校のキャプテンが代表して行う。登録メンバーが全員来ていることを確認してから受付に来ること。監督と確認を取り合い、**欠席者がいたら受付で必ず申告**すること。

個人戦・・・**選手自身が受付をする**。受付では、**①自分の「ドロー番号」、②氏名をはっきりと言う**。受付に来てドロー番号がわからないということがないように。言えない場合は後ろに並び直すことになる。各学校・クラブの責任者は、**仮ドローを印刷して選手に配布**するなどして、**選手が仮ドローで自分の「ドロー番号」を必ず確認し、覚えておくことができるようにしておくこと**。

3. 試合で注意すること

- ① **前もって「テニスのルール」をしっかりと学び、「セルフジャッジ」の方法や「マナー」を身につけておこう**。
- ② 相手選手には敬意を持つこと（相手があつてこそ試合が成立する）。試合終了後は結果にかかわらず感謝の気持を表す。
- ③ 服装は正式なテニスウェアとテニスシューズが基本。また、中体連の大会と同じように**「ゼッケン」を必ずつける**こと。ゼッケンなしでは試合はできない（九州新人大会も同様）。選手は腕時計をつけて試合はできない。肘や膝より長いアンダーウェア・スパッツ等は単色であれば着用可とする。
- ④ インやアウトなどは自分たちで責任を持ってジャッジし、カウントもきちんと確認しながら試合をする。わからなくなったらお互いに話し合いや確認をして解決すること。コート外（団体戦の場合はベンチに座っている人も対象）からの指示や助言等も受けてはいけない。もし、スコアがわからなくなったり、イン・アウトでもめたりして試合の中断が長引いたり、同じようなことが何度もある時、外からのアドバイスを受けている等はすぐに近くのロービング・アンパイアや大会役員または本部に連絡する。
- ④ ポイント間の時間（25秒）を守る。特にダブルスでは長くなりがちなので気をつける。
- ⑤ 団体戦は、全て「ノーアドバンテージ方式」となる。個人戦でも途中のラウンドまでは「ノーアドバンテージ方式」となる予定。仮ドローで確認を。なお、「ノーレット」は採用しない。

4. 本大会期間中における「動画・静止画撮影」に関して 重要事項です

この数年の間に、動画や静止画の無断撮影やSNSなどインターネットへの無断公開等のトラブルが問題になっていることから、そのことを憂慮し、大会本部として本大会では次のように対応する。

- ① 会場で試合等を撮影する人の使用目的がなんでもあれ、**必ず撮影対象となる相手（本人・監督や保護者等の大人）に撮影の許可を得てから撮影**すること。許可を得ていない撮影は禁止する。
- ② 許可なく撮影しているとわかった場合は、近くのロービング・アンパイアや大会役員または本部に届ける。注意等に応じない場合は会場からの退去などペナルティを課すこともありえる。
- ③ **たとえ許可を得て撮影したもので、SNS等のインターネット上への公開は禁止**する。公開されていると判明した場合には、今後の試合会場への立ち入りを規制することもありうる。また、被害者が何らかの法的措置をとる可能性があることも考えておいてほしい。

5. その他

- ① **会場前の道路上に駐車して、人の乗り降りをしたり、荷物の積み下ろしをしたりしない。**事故やトラブルの原因になる。近くの事業所等からも苦情が来ている。事故やトラブルには大会本部は責任は持たない。
- ② **相変わらず「ゴミの放置」が多い。ゴミは必ず持ち帰ること。**ペットボトル・空き缶・弁当ガラ等々。
2リットルのペットボトルは自販機横のゴミ箱には入れない。自販機関係業者のかたも困っている。また、空き缶等に煙草の吸い殻を入れて捨てる大人もいる。子供だけでなく大人も気をつけてほしい。
- ③ 「セルフジャッジと観戦マナーについての心得」もジュニアのホームページに掲載してある。特に「**観戦マナー**」については、**応援する立場の人には是非読んでいただき、理解しておいていただきたい。**
- ④ 「新型コロナウイルス感染症」は5類に移行したとはいえ、現在も流行している。また、インフルエンザも年間を通じて流行している。医師の診断があるなしにかかわらず、**体調が悪い、熱があるなどなんらかの症状がある時は、無理をせず休むこと。**無理して会場に来てさらに悪化したり、人にうつしたりしてはたいへん。監督や保護者など引率する立場にある人は適切に対処してほしい。なお、欠席する場合には、「受付終了時刻」までに大会本部に確実に伝わるようにすること。
- ⑤ 諸感染症予防の観点から、マスク着用（義務ではない）・「三密」回避・手洗いや消毒等の手指衛生・日々の健康状態と行動の確認・流行前の予防接種等を心がける。
- ⑥ **「サスペンション・ポイント（出場停止ポイント）」導入**を検討中。ルールやマナーを守ってプレイしよう。